

1 エントリー

(1) エントリー

ビーチバレー川崎市杯(以下、「川崎市杯」という。)に参加を希望する全てのチームは必ず所定のエントリー手続きを済ませなければならない。

1) エントリー資格

◆川崎市杯に参加を希望する日本人選手は日本ビーチバレーボール連盟選手登録を行っていないとせず、設定された締切り日までにエントリーをしなければならない。ここで言う登録とは登録費の支払い手続きを完了したものとす。

◆川崎市杯に参加するには日本ビーチバレーボール連盟選手登録のS登録を行っていないとす。エントリーの時点ではA登録も認めるが、大会参加が決定した場合、大会5日前までにS登録を完了してなければならない。大会開催日の時点でA登録の選手は大会の参加を認めない。

ただし、高校生以下の選手については日本ビーチバレーボール連盟選手登録のA登録でも川崎市杯に参加できるものとする。

◆外国人選手は日本ビーチバレーボール連盟選手登録を行うか、その資格を有さない場合は所属する国のバレーボール協会からの参加申請に基づき、公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレーボール事業本部の承認を経て参加を認めることがある。

◆日本ビーチバレーボール連盟選手登録を行っていない外国人選手が一人以上含まれるチームは規定範囲での参加を認める。

2) エントリー期限

平成29年9月25日(月)23時59分までを期限とする。

3) レイトエントリー

大会ごとのエントリー期限を過ぎた後も大会へのエントリーは認めるが、そのチームはレイトエントリーチームとして取り扱う。

4) 監督、コーチ、トレーナー申請

川崎市杯では参加チームの監督、コーチ、トレーナーをチームスタッフとしてAD申請のうえ会場内に入ることを認める。チームスタッフの申請は、大会エントリーと同時にエントリー期限内に行う。

なお、各チーム2名以内とする。

5) 参加料

川崎市杯の大会参加費は1万円/1チームとする。

(2) 参加チームの決定

川崎市杯の参加チームは以下の通り決定する。

1) 大会参加チームの決定

◆川崎市杯の参加チームはエントリー期限時点でのJVAビーチバレーボール・オフィシャルポイント(以下、「JVAポイント」)にて参加チームを決定する。

◆JVAポイントが同じ場合は、最も高いポイントを持つ選手がいるチームを上位とする。

◆レイトエントリーチーム

レイトエントリーチームはその大会が参加定員に満たない場合のみ参加することができる。

2) 補欠チーム

川崎市杯へのエントリーチームが大会参加定員よりも多い場合、エントリー期限日時点でのJVAポイントで参加定員以降のチームとレイトエントリーチームは補欠チームとなる。それら補欠チームは以下のように取り扱う。

◆正規(エントリー期限内)にエントリーした補欠チーム

他チームのキャンセルによる繰り上げはエントリー期限時点のJVAポイントによって行われる。

◆レイトエントリーチーム

他チームのキャンセルによる繰り上げは正規にエントリーしたチームを優先する。レイトエントリーチーム同士は申込み順で繰り上げを行うものとする。

(3) ワイルドカード

川崎市杯には大会主催者が定めるワイルドカードが参加することがある。ワイルドカードによる参加チーム数の上限は2チームとする。

1) ワイルドカードの対象

ワイルドカードは正しくエントリーを行ったチームを対象とし、所定のシードが与えられる。

◆ワイルドカードは、JBVワイルドカード、開催地ワイルドカードから選ばれる。

◆ワイルドカードは申請権を持つ組織が日本ビーチバレーボール連盟に対し申請を行う。

◆ワイルドカード申請は、参加チーム発表期日までに行わなければならない。

2) ワイルドカードの推薦権

ワイルドカードの推薦は、以下の推薦団体が日本ビーチバレーボール連盟に推薦を行う。選手本人からの推薦書提出は対象外とする。

◆開催地都道府県バレーボール協会又は開催地都道府県ビーチバレーボール連盟

◆JVAビーチバレーボール事業本部

◆JVAビーチバレーボール強化委員会

3) JBVサテライト優勝選手ワイルドカード

サテライトの優勝選手をワイルドカードの選考対象とする。

チームが変わることも踏まえ選手個人を対象とするが全員を選ぶわけではない。

希望する大会に通常エントリーを行い、ワイルドカードの手続きを行うものとする。

4) ワイルドカードの決定権

ワイルドカードは日本ビーチバレーボール連盟が決定する。

5) 外国人チームの出場

正規のルートにより推薦された外国人チームは、強化の目的からワイルドカードに含めない。

出場の決定は、日本ビーチバレーボール連盟で行う。

(5) キャンセル

各大会にエントリーを済ませたチームがそれを取りやめる場合は必ずキャンセルの手続きを行わなければならない。

1) 参加チームのキャンセル

参加チームがキャンセルする場合は以下の手続きを行わなければならない。

◆怪我等の場合は診断書、その他の理由の場合は文書にて申請し、日本ビーチバレーボール連盟の承認を得なければならない。

◆川崎市杯における診断書の提出を必要とするキャンセルについて、診断書の提出がないチームは、罰則として以後のJBV主催大会への参加を認めない場合がある。

◆川崎市杯においてプレリミナリイックワイアリに來なかつたチーム、すなわち主催者に無断でキャンセルを行ったチームは、別に定める罰則が適用される。

◆診断書の提出を必要とするキャンセルにおいて、診断書がない場合でも日本ビーチバレーボール連盟がやむを得ないと認めた場合に限り、罰則が適用されないことがある。

◆FIVB、AVC主催大会又はJVAビーチバレーボール事業本部が認める大会への参加又は参加するための移動等によるキャンセルは罰則の適用外とする。

(6) 選手変更

エントリー期限後でも日本ビーチバレーボール連盟が認めれば、ルールに定められた範囲に限りチームでどちらか一方の選手を変更することが出来る。

◆変更によってチームに加入する選手はすでに川崎市杯参加に必要な日本ビーチバレーボール連盟選手登録(S登録)を済ませていなければならない。

- ◆JVAポイントは変更後の選手のものを採用する。選手変更によるJVAポイントの増減に伴いエントリーリストを変更する。すなわち参加確定チームが補欠チームに繰り下がることもある。
- ◆選手変更時点でエントリーリストが発表され、すでに参加チームが決定している場合、JVAポイントが上がることによって補欠チームが参加確定チームに繰り上がることはない。
- ◆補欠チームが選手変更によりJVAポイントが増えた場合、補欠チーム内での順位が変更されるが、参加確定チームに繰り上がることはない。(補欠チームに繰り上がるには、参加確定チームのキャンセルもしくは選手変更が行われた場合に限る)。

1) 選手変更期限

大会7日前以降の選手変更は認めない。ただし、日本ビーチバレーボール連盟がやむを得ないと判断した場合にはこの限りでは無い。

2) ワイルドカードの選手変更

ワイルドカードはいかなる時点でも日本ビーチバレーボール連盟が認めた時に限り、ワイルドカードのままどちらか一方の選手を変更することが出来る。

2 シーディング

(1)シーディング

大会の各カテゴリーにおけるシーディングの方法は以下の通りとする。

1) シーディング

シーディングは大会5日前のJVAポイントに基づき、プレミナリンクワイアリの時点で確定する。JVAポイントが同じ場合は最も高いポイントを持つ選手がいるチームを上位とする。それも同じ場合は日本ビーチバレーボール連盟による厳正な抽選によりシーディングを決定する。

3) ワイルドカード

ワイルドカードは以下のシードが与えられる。

ワイルドカード1 … シード5

ワイルドカード2 … 大会5日前時点の JVA ポイント順

ワイルドカードのシーディングは、上記シードと自らのJVAポイントにより与えられるシードのうち、より上位となるシードを適用する。

4) 選手の変更

選手を変更したチームのJVAポイントは変更後の選手のものを採用する。

(2) プレリナリイックワイアリ、テクニカルミーティング

プレリナリイックワイアリ、テクニカルミーティングは、原則大会当日に大会事務局の定める時間、場所で大会主催者代表の出席のもと開催される。プレリナリイックワイアリの時間、場所については、大会ごとに事前に参加選手に通知される。

大会エントリーチームはプレリナリイックワイアリとテクニカルミーティングに参加した時点で大会参加チームと認める。プレリナリイックワイアリ、テクニカルミーティングには原則選手2人が参加しなければならない。やむを得ない理由によりプレリナリイックワイアリ、テクニカルミーティングに参加できないチームはプレリナリイックワイアリ終了時間までに大会事務局に連絡しなければならない。

プレリナリイックワイアリ終了時点でプレリナリイックワイアリの会場にいないチーム、連絡のないチームは無断でのキャンセルとみなし、罰則として今後のJVA主催大会への参加を認めない場合がある。

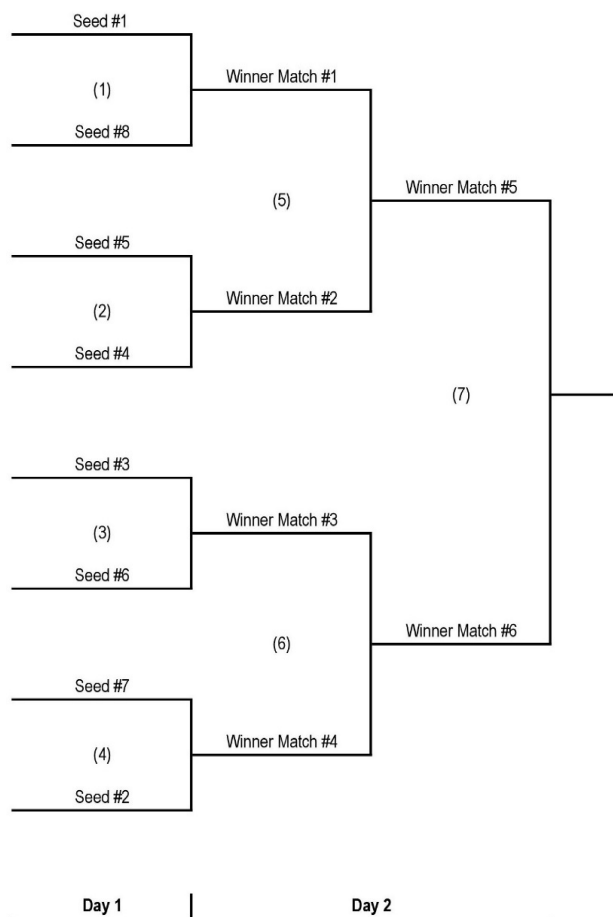
なお、プレリナリイックワイアリ、テクニカルミーティングを実施しない場合は事前に通知する。

(3) 競技形式

川崎市杯は8チームが参加して以下のように行われる。

◆8チームによるトーナメント方式

シングルエリミネーショントーナメント方式で行う。トーナメント内容は下記に表示するとおりとする。



4 その他重要事項

(1) 競技全般

1) 男女共催

川崎市杯は男女共催で行われる。

やむを得ない事情が発生した場合に限り、男女別開催で行われる場合がある。

2) 試合形式

川崎市杯は全ての試合が3セットマッチで行われる。ただし天候状況等によりキャップが設けられることがある。

3) 形式の変更

事前もしくは当日に関わらず、やむを得ない事情が発生した場合に限り、日本ビーチバレーボール連盟はトーナメント方式及び試合形式を変更することがある。

(2) ユニフォーム

川崎市杯は日本ビーチバレーボール連盟のユニフォーム規定を遵守して行われる。大会参加チームは原則日本ビーチバレーボール連盟のユニフォーム規定に適合したユニフォームを自分たちで用意しなければならない。ユニフォームのルールに関して詳細な基準は日本ビーチバレーボール連盟競技委員長の判断によって行われる。

◆ユニフォームチェックはマッチプロトコルに審判によって行われる。もしくはプレリミナリイックワイアリ時に大会事務局により行われることがある。

◆もしユニフォームチェック時にユニフォームに違反があると判断された場合、試合開始までに適正なユニフォームへの変更ができない場合は試合を没収される。

1) スポンサーロゴ

ユニフォームに露出するスポンサーマークやロゴの数及び位置、サイズについては日本ビーチバレーボール連盟のユニフォーム規定に定める範囲とする。胸番号、背番号の識別が可能なものであること。

※ただし露出が制限されるスポンサーもあり得る。

2) マニュファクチャーロゴ

ユニフォームのマニュファクチャーロゴは規程の範囲内とする。

※着用は認めるがマニュファクチャーロゴのマスキングを指示されることがある。

3) 大会主催者によるトップスの支給

大会主催者よりトップスの支給があった場合、大会参加選手は必ずそれを着用して試合しなければならない。トップス支給の有無は事前に日本ビーチバレーボール連盟事務局より告知される。

4) アンダーウェア等の着用

チームは必ず同型、同色のアンダーウェアを着用しなければならない。また、どちらか一方の選手だけが着用することは許されない。

(3) コーチング

川崎市杯では、監督が試合中にコーチングを行うことは出来ない。

(4) 大会の棄権

競技開始後の怪我等による棄権は、確定した順位に基づき賞金、ポイントを与える。

競技開始前の棄権の手続きは、(5)キャンセルに規定する内容により処理する。

(5) ポイント

本大会に参加したチームには別途定められたJVAポイントが与えられる。

(6) 賞金

本大会に参加した選手には大会要項で定められた賞金が支払われる。

(7) 女子選手ユニフォームのオプション

本大会では、女子選手が着用するユニフォームのオプションとして、半袖、長袖、ショーツ、パンツ(ズボン)タイプの着用を定められたルールに沿った範囲で認める。

(8) 公式行事への参加について

大会に参加する全ての選手はプレリナリイックワイアリ、テクニカルミーティング、表彰式など、大会が指定する大会運営上必要な公式行事には必ず参加しなければならない。

参加しなかった選手については以下の罰則を適用する。

1) プレミナリインクワイアリ、テクニカルミーティング

- ・同大会のエントリーを抹消し同大会への参加を認めないものとする。

2) 表彰式

- ・同大会で獲得したポイント、賞金を剥奪する。
- ・日本ビーチバレーボール連盟に対し始末書を提出する。
- ・以降3大会、指定する大会への出場を認めない。

3) 併催イベント、交流試合、スクール等

- ・日本ビーチバレーボール連盟に対し理由書を提出する。

罰則については日本ビーチバレーボール連盟がやむを得ない事情を認める場合はこの限りではない。

ただし、選手はやむを得ない事情が生じたと考えられる場合についても、それぞれ公式行事の開始前に日本ビーチバレーボール連盟に事態を連絡しなければならない。

(9) コンプライアンス規定の遵守

大会関係者(選手を含む)は、スポーツパーソン、スポーツ関係者として品位と名誉を重んじつつ、フェアプレーの精神に基づいて他の範となるよう行動し、ビーチバレーボールの健全な普及・発展 に努めなければならない。

法令等違反行為に該当するもしくは、該当する恐れがあるものについては規定に基づき対処する。

(10) その他

本規定は平成29年9月1日から実施する。

本規定の変更は日本ビーチバレーボール連盟及び大会実行委員会の協議によって行うことができる。

また、本規定に明示されていない不測事項はすべて日本ビーチバレーボール連盟ならびに大会実行委員会で決定する。

附則

平成29年9月1日